

2014年

26年) 7月23日(水曜日)

中 日 新 聞

# 世界に通用する人材育成

## 本年度、浜松に光技術研究施設 完成



熱心に発言する(左から)浜松ホトニクスの書馬明社長、静岡大の伊東幸宏学長と中西美沙子客員教授。浜松中区の浜松ホトニクス本社で

### 静大学長、浜ホト社長ら懇談

静岡大と浜松ホトニクスなどによる光技術の共同研究施設が浜松市中区の静大浜松キャンパスに完成する

のを前に、静大の伊東幸宏学長と浜ホトの書馬明社長、静大の中西美沙子客員教授が二十二日、中区の浜

ホト本社で懇談し、世界に通用する人材育成の重要性などについて語った。

伊東学長は「教養学部的な語学でなく、実学で留学生を教育したい」と強調。

地元の企業と連携しながら地域が必要とする人材を育てるビジョンを披露し「今いる三百人の留学生を倍増させたい」などと語った。

書馬社長は、若い世代へのメッセージとして「世界で勝負する気持ちが大切。日本を見つめ直し、グローバルな視野を養うために、若いころに海外に出てほしい」と話した。

静大、浜松医科大、光産業創成大学院大、浜ホトは昨年六月、浜松で世界的な光技術の開発を進める「浜松光宣言」に調印。四者の共同研究施設は二〇一四年度内に完成する予定。光技術の研究が注目されることから、中西客員教授がコーディネーターとなり「将来を担う科学者の育成」や「好奇心」などをテーマに語り合った。(詳細は八月上旬に掲載予定です)